

当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<http://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

## 新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えするため、検査の新規拡大に努めておりますが、この度、下記項目の検査受託を開始することとなりました。

取り急ぎご案内致しますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

敬具

記

### 新規受託項目

- [25563] B型肝炎ウイルスコア関連抗原(HBcrAg)

### 受託開始日

- 平成23年11月7日(月)

## B型肝炎ウイルスコア関連抗原 (HBcrAg)

B型肝炎ウイルス (HBV) は、わが国において100万人以上のウイルス保有者が存在するといわれ、近年でも年間100～200件程度の新たな感染者が報告されています。

多くは不顕性に推移しますが、1割程度に肝炎を発症し、またその一部に慢性肝炎から肝硬変、肝細胞癌への進展が認められるといわれています。

従来、免疫学的検査法によるHBVの活動性のマーカーにはHBe抗原やHBe抗体が用いられていました。しかしHBe抗原陰性及びHBe抗体陽性でもHBVの活動性を示すことがあることや、プレコア領域の変異によりHBe抗原の陰性例が存在することなどがあり、HBVの活動性を迅速かつ的確に判断することが求められています。

本検査は、化学発光酵素免疫測定法 (CLEIA) により、B型肝炎ウイルスコア関連抗原 (HBcrAg)、すなわちHBe抗原、HBc抗原およびHBVプレコア蛋白 (p22cr) を網羅的に測定するものです。

また、HBV量を直接的に把握する検査として、肝生検による肝細胞中のcovalently closed circular DNA (cccDNA) 量の測定が行われますが、本検査はそのcccDNA量を間接的に反映するマーカーであり、核酸アナログ製剤投与下では、HBV-DNA量は速やかに低下するのに対し、HBcrAg量は緩徐に低下します。さらにHBV-DNA定量では判断できない核酸アナログ製剤 (ラミブジン等) 投与によるHBVの再燃予測や、投与中止時期決定の指標に有用とされています。

### 検査要項

項目コード	25563
検査項目名	B型肝炎ウイルスコア関連抗原 (HBcrAg)
検体量	血清 0.5 mL
保存方法	凍結 (-20℃以下)
検査方法	CLEIA法
基準値	3.0 LogU/mL未満
所要日数	3～6日
検査実施料	290点 ([D013] 肝炎ウイルス関連検査 「9」 B型肝炎ウイルスコア関連抗原 (HBcrAg))
判断料	144点 (免疫学的検査判断料)
定価	5,000円
備考	【検査適用条件】 B型肝炎ウイルスコア関連抗原 (HBcrAg) 定量は、B型肝炎ウイルス感染の診断の補助及び治療効果の判定の目的で、血清又は血漿中のB型肝炎ウイルスコア関連抗原 (HBcrAg) を測定した場合に1月に1回に限り算定する。 なお、「D023」微生物核酸同定・定量検査又は同「5」のDNAポリメラーゼを同時に測定した場合は、主たるもののみ算定する。

### 参考文献

伏見昌子, 他: 医学検査: 58(11), 1237～1241, 2009